

## 【青森県青森市】【青森労働局ハローワーク青森】

# 青森市とハローワーク青森が連携した就職支援対策

### 【課題・目的】

高校新卒者に対して、「基本的なマナーの取得ができていない」、「採用しても早期に離職してしまう」等のイメージが求人事業主に浸透しているものの、熱心に地元就職を希望している生徒がいることを市長との座談会でアピールし、求人の確保を図る。

### 【実施概要】

市長との座談会の取組を契機として、平成22年度から市長・市議会議員・ハローワーク所長の三者連名での経済団体に対する求人拡大要請、基金事業を活用した雇用促進事業（「元気な青森・正規雇用拡大支援事業」）の創設、高校2年生に対する就職支援セミナー等を行った。

### 【役割分担】

#### 【青森市】

- ◆ 高校生と市長の座談会の運営
- ◆ 企業説明会、面談会の共催
- ◆ 求人拡大要請活動の実施
- ◆ 基金事業を活用した雇用促進事業の実施

#### 【ハローワーク】

- ◆ 高校の進路指導担当者との連絡調整
- ◆ 就職支援セミナーの運営
- ◆ 市の事業の事業主への周知及び求人確保

### 【効果】

- ◆ 市長との座談会がマスコミに取り上げられ、生徒の地元志向が広く周知されたことから、地元企業に対する求人提出のアピールとなった。（地元紙や地元テレビで放映）
- ◆ 生徒の就職に対する意識や進路指導者の意欲の向上が図られた。



#### ＜青森市コメント＞

若年者の就職促進に向けた取組をハローワークと連携して進めることにより、地域が一体となった質の高い雇用対策を実施できることから、今後も密接に協力し共催事業の取組の充実を図りたい。

#### ＜労働局コメント＞

「最近の若者は」というように若年者に対する逆風が吹く中、少子高齢化の下で地元就職のために精一杯奮闘している生徒の希望を実現するためには、地方自治体が地元企業に働きかけることが重要であり、継続して実施していきたい。

## 【青森県】【青森労働局ハローワーク青森】

# ジョブカフェ、サポステ、ハローワークによるチーム支援の実施

### 【課題・目的】

3施設の強みを活かした就職支援により若年者の就職促進をめざす。

### 【実施概要】

3施設で構成する支援チームがチーム支援を行うことにより就職に結びつくと考えられる下記の方に対して、個別の支援計画に基づく集中的な就職支援を行う。

- ①学卒未就職者 ②非正規雇用労働者（不本意就業者）
- ③就職への意欲が高いのに失業期間が長い方（概ね1年以上）
- ④高校中退者
- ⑤上記のほか、相談者の個々の状況を勘案し、チーム支援が有効と考えられる方



### 【役割分担】

#### 【ジョブカフェ】

- ◆職業適性・興味診断
- ◆就職支援セミナー
- ◆キャリアカウンセリング（自己理解支援、面接支援、応募書類作成支援、ビジネスマナー支援）

#### 【サポステ】

- ◆臨床心理士によるカウンセリング

#### 【ハローワーク】

求人情報提供、職業相談・紹介、職業訓練相談・受講指示、求人開拓

### 【効果】

チーム支援対象者の就職率50%以上の目標に対し、26年1月末現在で就職率72.9%（43人就職）

#### ＜青森県コメント＞

チーム支援では、一体的運営のメリットを最大限に活かし、カウンセリングから全国ネットワークによる職業紹介まで、集中・一貫したサービスを提供している。今後も密接に協力し充実を図りたい。

#### ＜労働局コメント＞

高い就職率を維持しており、チーム支援による取組は評価でき、今後もこの取組を進めていく。

# 【岩手県盛岡広域振興局】【岩手労働局ハローワーク盛岡】 就業支援員とジョブサポーターが連携し高校生の就職及び職場定着を支援 ～役割分担の明確化、確実な連携により効果的な支援を目指す～

## 【目的】

将来の岩手を担う人材の確保のため、**雇用対策協定の取組として新規高卒就職者の就職・定着支援**を実施。  
高卒就職者の支援は様々な関係者がいるため、**県と国が役割分担**をしながら**要望を収集**し、そのうえで**関係者と情報共有**することで、質の高い高卒就職者の就職・定着支援を実現することを目指す。

## 【実施概要】

- ◆**対象者**：学校紹介又はハローワーク紹介により就職が決まった新規高卒就職者を対象。
- ◆**要望収集**：県⇒事業所の高校に対する要望等を収集（聞き取り等により「業務に必要な人材」や「実習受入れ」等の内容を把握）  
↓  
国⇒新卒就職者及び進路指導教諭から収集（定着指導等により「就職先の職場環境」や「雇用管理の状況」を把握）  
**集めた情報は進路指導担当者・事業所に提供。次年度の進路指導・採用活動に役立ててもらおう。**
- ◆**事業所訪問**：県の就業支援員と国のジョブサポーターが共同で事業所訪問を実施（国と県が共同で訪問することで事業所に対し「本気度」が伝わる） ※原則全ての管内就職者を対象に事業所訪問を実施。
- ◆**好事例の把握**：国が①新卒就職者への研修事例、②職場定着のための取組事例、③職場環境づくりの状況等を収集し、求人事業所に提供。**雇用管理改善資料として活用してもらおう。**
- ◆**事業のフォローアップ**：高校との連絡会議・学校訪問時に、進路指導担当教諭から当該事業についてヒアリングを実施。また、雇用対策協定の運営協議会においても事業内容についてPDCA管理。**事業の質の向上を図る。**

## 【役割分担】

- |   |   |
|---|---|
| <p>【岩手県盛岡広域振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆連携して訪問する事業所の選定</li> <li>◆高校へのフィードバック</li> </ul> | <p>【ハローワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆訪問事業所の選定・連絡</li> <li>◆事業所指導</li> <li>◆就職者へのアンケートの実施</li> <li>◆好事例の収集</li> </ul> |
|---|---|

**【効果】**  
（平成27年度）  
定着支援：72人  
※訪問できない事業所へはアンケートにより状況を把握。

＜盛岡広域振興局のコメント＞  
連携して支援することで情報共有を図ることができ、また学校の支援も円滑に進められる。

＜労働局コメント＞  
役割分担をしながら各機関へアプローチすることで、きめ細かな支援が可能となった。役割分担を明確にできたのは、雇用対策協定を締結したことによるものが大きいと考える。  
当該取組は、独自で定着支援を実施していない高校を卒業した就職者に対する効果が期待されるので、今後も実施していきたい。



## 【山形県】【山形労働局・ハローワーク】 新規大学等卒業予定者の地元就職を促進するため、 「オールやまがた学生就職面接会」を共同開催

### 【課題・目的】

大学生の中央大手企業志向が高まっている中で、地元への就職を希望する学生や長期にわたって就職活動を継続する学生を支援するとともに、地域の魅力ある企業とマッチングを図る。

### 【実施概要】

- ◆ 県内各ハローワークすべての地域から求人企業を募集し、県内4ブロック毎に個別ブースを配置して個別面談を実施
- ◆ 面接会の前日に企業訪問ツアー（バスツアー）を実施し、面接会参加企業の仕事の内容を事前に知る機会を付与

### 【役割分担】

#### 【山形県】

- ◆ 地元の高校を卒業し進学した子を持つ保護者に案内文を送付
- ◆ 求人企業情報の収集及びハローワークへの提供
- ◆ 面接会の運営

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆ 求人開拓(若者応援企業の募集含む)
- ◆ 大学等への周知(県外大学含む)
- ◆ 面接会の運営(職業相談コーナーの設置)



#### ＜山形県のコメント＞

労働局（ハローワーク）と連携することで学生の多様なニーズに応じた効果的なマッチングが可能となった。

#### ＜労働局コメント＞

- ◆ 新規求人の掘り起こしにつながった。
- ◆ 学生に対する案内が効果的である。
- ◆ 県外へ進学した学生の参加を多数得られた。

### 【効果】

- ◆ 企業訪問ツアー  
企業 21社（製造業コース・サービス系コース） 学生 49人
- ◆ 就職面接会  
企業 112社 求人数 694人 学生 400人 内定者 76人

## 【福島県白河市】【福島労働局ハローワーク白河】 県南地域の若年労働力確保のため、企業展示説明会を共同開催

### 【課題・目的】

県南地域での人材確保支援として、生徒に向けた地元企業のPRや製品・商品展示等を行うことで、企業の理解促進及び就職に対する意識向上を図り、地元での就職を促進する。

併せて、参加企業からの求人確保に繋げることを目的とする。

- 【実施概要】**
- ◆開催内容 企業間の交流の場であったイベントを拡充し、企業から高校生へのプレゼンテーション、企業ブースごとの製品・資料等の見学を実施。
  - ◆開催日 平成24年11月13日（火）
  - ◆開催場所 白河市立図書館地域交流会議室
  - ◆参加企業 31社
  - ◆参加生徒 260人（高校1，2年生）

\*H25年度は、平成26年2月25日・26日開催予定であったが大雪の影響により中止（H26年度の早い時期に振替開催予定）



### 【役割分担】

#### 【白河市】

- ①説明会の運営・準備（会場手配、ブース設置等含む）
- ②企業への開催案内・参加勧奨

#### 【ハローワーク】

- ①高校との連絡・調整
- ②高校経由による生徒への参加勧奨

### 【効果】

- ◆ 管内受理求人数150人増加  
（H25年度558人（H26.1月現在）、H24年度408人）
- ◆ 県内就職内定者数14人増加  
（H25年度288人、H24年度274人）

#### ＜白河市コメント＞

自分たちの住んでいる地域の企業を知ること、将来の選択肢の一助とするとともにものづくりの大切さを再認識してもらう場として、今後とも若年者雇用の新規開拓・創出に努めていきたい。

#### ＜労働局コメント＞

白河市との連携により、企業間の交流の場に、雇用促進に向けた要素を取り入れることで、高校生に対して、地元企業の事業及び仕事内容の理解促進の場を提供でき、大変有意義な取組みとなっている。

## 【茨城県】【水戸市】【土浦市】【茨城労働局】 若者応援企業、茨城県表彰企業を中心とした 「がんばっぺ！茨城」企業説明会&就職面接会を開催

### 【課題・目的】

若者応援企業及び茨城県表彰企業等と学生とのマッチング促進、卒業を直前に控えている未内定者の就職支援として実施。

### 【実施概要】

平成27年3月大学等卒業予定者に対する企業説明会と、平成26年3月大学等卒業予定者（既卒者含む）を対象とした就職面接会を同時開催。若者応援企業や、職場における男女共同参画・子育て支援等に取り組む企業（くるみん認定企業や茨城県表彰企業）を中心に参加を募り実施。

### 【役割分担】

#### 【茨城県】

- ◆開催に係る周知、広報
- ◆参加企業申込みサイトの制作、運営 等

#### 【ハローワーク】

- ◆全般的な企画、立案
- ◆参加企業との連絡、調整 等

【水戸市、土浦市】 ◆開催に係る周知、広報

### 【効果】

- ◆ 本面接会により、ハローワークへ71人分の新規の求人提出があった
- ◆ 面接会終了後1週間の時点で、5人の採用が決まる（参加学生 167人）。



### ＜茨城県コメント＞

若者の採用に積極的な若者応援企業などに多く参加してもらうことにより、未内定者や卒業予定者への効果的な就職支援ができた。

### ＜労働局コメント＞

今回で3回目の開催であったが、各自治体との連携が功を奏し、多数の学生の参加があった。



## 【茨城県笠間市】【茨城労働局ハローワーク笠間】

# 地域の中小企業の人材確保のため、新卒対象の面接会を共同開催

### 【課題・目的】

地方の中小企業を知ってもらい、一人でも多くの学生に地元の企業へ就職してもらうため実施

### 【実施概要】

- ◆企業15社程度、学生70人規模で計画
- ◆対象は笠間市内の企業、笠間市内学校在学者及び笠間市外の在学者（既卒3年以内含む）に参加勧奨を行った。
- ◆参加企業は15社、参加学生は51名（高校生30名・大学等21名）で75件面接実施。

### 【役割分担】

#### 【笠間市】

- ◆会場の選定・打合せ
- ◆企業への周知案内
- ◆学校への周知案内
- ◆市広報・HP掲載

#### 【ハローワーク】

- ◆企業への求人開拓
- ◆学校及び既卒者への参加勧奨
- ◆相談コーナーの設置
- ◆新卒応援ハローワークの広報

### 【効果】

- ◆面接会により18名の新卒者の就職が決定
- ◆今回の面接会で管内企業からの求人が対前年比37.1%増加
- ◆管内の高等学校の就職率が対前年比4.8%の増加
- ◆地元企業から中小企業にとっては良い機会との声が上がった。



#### <笠間市コメント>

従来応募者が少ない中小企業からも求人の申込があり、複数の学生と面接できる機会が増え、企業もメリットがあったと考えている。

#### <労働局コメント>

大規模な面接会では人材の確保が困難な中小企業にとっては地元の企業等を知ってもらえる機会ができて良かった。

【茨城県】【茨城労働局】

# 大学等と企業の情報交換の場として 「大学等と就職・採用担当者との交流会」を共同開催

【課題・目的】

昨今の学生の就職活動はインターネットを通じて行うことが主流であり、大学と企業の接点が少なくなっている。

そのため、大学と企業との情報交換の場を設けることにより相互理解を深め、大学の就職指導担当者を通じて学生への地元企業への理解を促すこと、企業の採用機会の拡大に資することを目的に実施。

【実施概要】

司会者より参加企業の概要説明ののち、参加大学等からの就職状況等についてプレゼンを実施。その後、企業が大学のブースを訪問する形態で自由交流を行った。

【役割分担】

【茨城県】

- ◆ 企業への周知、広報
- ◆ 交流会当日の会場設営 等

【労働局】

- ◆ 交流会全般の企画、立案
- ◆ 参加企業と参加大学の連絡、調整 等

【効果】

- ◆ 大学等15校、企業56社の参加があった。
- ◆ アンケート結果より、企業側、大学等側とも「良い機会であった」との意見をいただいていることから、開催目的は概ね達成できた。



＜茨城県コメント＞

産学官の連携強化が求められる中で、茨城労働局と共催により交流会を開催することで、相互理解を深めることができた。

＜労働局コメント＞

次回の開催に際しては、アンケートにて頂いた意見を可能な限り取り入れ、さらに良いものとしていきたい。



## 【神奈川県】【神奈川県労働局ハローワーク横浜】

# 若者と求人企業のマッチングのため、企業説明会を共同開催

### 【課題・目的】

就職活動中の若者と求人企業とのマッチングの場として企業説明会を開催。求める人材・仕事内容・職場環境等を直接人事担当者から聞くことができる。

### 【実施概要】

若年者雇用に意欲的な企業（原則、毎回1社）の人事担当者が求職者に対し、募集要項に加え、企業内の環境等についての説明を行った後、横浜わかもの支援コーナー（ハローワーク）での職業相談を経て希望者には職業紹介を行う（当日の面接も可能）。

参加企業の選定にあたっては、県の「かながわ若年就職支援センター」が、求職者のニーズにあった企業の求人開拓を実施。

### 【役割分担】

【神奈川県】（かながわ若年就職支援センター）

- ◆求職者、参加企業への周知
- ◆説明会の実施（委託）

【ハローワーク】

- ◆求職者への周知
- ◆説明会当日の職業相談、職業紹介

### 【効果】

- ◆平成25年度実績
  - ・開催回数 33回
  - ・参加人数 223人 ・面接参加者数 112人
  - ・正社員就職者 19人



### ＜神奈川県コメント＞

近距離でざっくばらんに話を聞くことが出来るため、より深い企業理解及び業界・職種理解に繋がる。

### ＜労働局コメント＞

書類選考の求人が多い中、企業説明から面接までワンストップで行える。また、企業説明後の面接とあって、求職者はリラックスして面接に望める。

求職者に対し、県と国がそれぞれ周知することで、参加人数の拡大につながっている。

## 【神奈川県小田原市】【神奈川県労働局ハローワーク小田原】 地元企業の人材確保のため「高校生ジョブツアー」を実施

### 【目的】

地元企業の人材確保として、地元に残り地域経済の発展を担ってもらうきっかけとなるよう、**地元高校生と地元企業が交流する機会を提供**し、地元で働くことの意義を考えてもらうきっかけを提供する。

- ※ 高校生に働く現場と、年齢が近い学校の先輩たちが働いている姿を実際に見てもらうことにより、仕事をより身近に感じてもらうことが可能。
- ※ 対象企業は、新規卒者の採用やキャリア教育に理解がある企業を市と国で選定（高校生の興味が高い「製造メーカー」、「金融機関」、「接客関係職種」等）。

### 【実施概要】

- ・対象者：管内の高校1・2年生を対象に実施
- ・開催日：平成27年8月4日（火）
- ・見学企業：4社（地元商工会議所からも意見を伺いながら選定）
- ・セミナー：移動のバスの中で、ハローワークの学卒ジョブサポーターによる①労働関係に関するクイズ形式によるセミナー、②訪問する企業の業界の豆知識の説明、等を実施
- ・企業見学後：ハローワークの会議室で参加生徒と情報交換を行うとともに、ハローワークの見学を実施。

### 【役割分担】

#### 【小田原市】

- ◆バスの提供
- ◆高校（生徒）への参加勧奨
- ◆当日の運営

#### 【ハローワーク】

- ◆見学企業選定への情報提供
- ◆参加勧奨への協力
- ◆バス内でのセミナー
- ◆見学後の振り返り・意見交換

### 【効果】

- ◆平成27年度は18人参加（平成26年度は16人参加）
- ◆先輩社員の声や働く姿を見て、「仕事」を肌で感じてもらうことができた。
- ◆地元企業をアピールすることができ、将来、地元で働いてほしいというメッセージを発信することができた。



### 小田原3J事業

小田原市とハローワークは、「ジョブツアー」と、「ジョブスタディ」(※1)の高校生就職支援事業を連携して実施。また「ジョブシャドウ」(※2)の実施を協力。

※1 高校1、2年生を対象に「働く」を知るセミナー、生徒と企業の交流会を実施(ハローワークと市、地元商工会議所の共同)。

※2 高校1、2年生の生徒1人が企業の社員1人に数時間「影」(シャドウ)となって「働く」ことを体験(企業による地域貢献事業を市と後援)。

### <小田原市コメント>

高校在学時に地元企業を知ってもらうことは、将来の地域経済発展への布石である。関係機関と連携して地元企業の人材確保に努めてまいりたい。

### <労働局コメント>

高校1年、2年生の早い時期に働く現場を見ることにより、地元企業を知ることにつながる。地方自治体と連携を図ることで、地域に根ざしたキャリア教育が実施できるため、今後とも推進していきたい。

【新潟市】【新潟市雇用促進協議会】【新潟労働局下越地区ハローワーク】

# 新潟市とハローワークが連携した高校生の地元就職の促進

～「高卒求人団体要請」、「企業と高校教師の情報交換会」、「高校生応募前企業説明会」を実施～

## 【課題・目的】

高校生の地元企業理解、職業理解を促し、地元就職の促進を図るため  
**「高卒求人申込」の団体要請、「企業と高校教師の情報交換会」**  
及び**「高校生応募前企業説明会」**を開催。

## 【実施概要】

高等学校長、新潟市長、ハローワーク所長が商工会議所会頭・商工会長を訪問し、「高卒求人枠の確保」及び「早期の求人申込」を要請。

また、高校教師と企業人事担当者が採用計画数や就職希望動向などの情報交換を行い、今後の就職指導の参考とするとともに、高校生が応募前に企業から直接説明を受ける機会を提供し、職業理解の促進を図る。



## 【役割分担】

【新潟市】  
【新潟市雇用促進協議会】  
広報、会場設営・運営

【ハローワーク】  
企画運営、企業及び高等学校への参加要請

### <労働局コメント>

自治体の広報を活用した高卒求人確保と、新潟市、雇用促進協議会、ハローワークが一体となって企画・運営を行うことで、多数の高校生、地元企業から参加をいただいた。

高校生に対して地元企業と職業理解促進の場を提供できる有意義な取り組みとなっており、地元就職の促進、職場定着の観点から効果的で県内就職促進に貢献している。

## 【効果】

**応募前企業説明会は71企業、1,296人の高校生が参加。**  
企業の人事担当者による直接説明により企業理解、職業理解が深まり、管内企業への応募は全体の57%となっている。



## 【福井県】 【福井労働局】

### 地域の中核産業の人材確保のため、新規学卒面接会を共同開催

#### 【課題・目的】

新規大学等卒業予定者の就職応募機会の確保と県内企業における若年労働力の確保を支援する。

#### 【実施概要】

大学等卒業予定者の採用を決定している企業約220社と就職希望学生が一堂に会して面接を行う「ふくい雇用セミナー」を開催し、就職の促進を図っている。

#### 【役割分担】

##### 【福井県】

- ◆ 学生へのダイレクトメール
- ◆ Uターンバスの運行（東京、名古屋、大阪、京都）
- ◆ セミナー会場設営

##### 【労働局】

- ◆ 参加事業所への周知等
- ◆ 県内大学等への周知
- ◆ 周知用リーフレットの配付



#### <福井県コメント>

本県の産業・経済を担う若年人材の確保およびUターン希望者の県内企業への就職促進に寄与している。

#### <労働局コメント>

県内企業の若年労働力の確保と県内・県外大学生等への就職機会の確保のための面接会として大規模に開催することで、多くの企業と多くの学生が参加し、就職にも大変寄与している。

#### 【効果】

- ◆ このイベントにより約900人が参加し、その内約150人が内定した。
- ◆ 参加者の35%を県外学生が占めており、県外へ進学している大学生等に有効な就職活動の機会となっている。

## 【岐阜県郡上市】【岐阜労働局ハローワーク岐阜八幡】 「郡上未来塾」で地元高校生を中心 とした若者の地元就職支援を実施！

### 【課題・目的】

「郡上未来塾」とは、郡上市、商工会及びハローワークが連携し、郡上市雇用対策協議会の事業として高校と協議を行い、地元企業の協力を得ながら地元の高校生を中心に地元就職に向けた支援、啓発活動等を目的に活動している。

### 【実施概要】

管内の高校（2校）を対象に、地元企業の協力を得て、①高校内企業説明会、②地元就職された先輩をパネラーに招いてのパネルディスカッション等、③模擬面接（市、商工会、安定所が面接官として実施）等を実施。

また、管内の特別支援学校高等部については別内容にて年4回開催。

### 【役割分担】

#### 【郡上市】

- ◆企業絞込み、選定
- ◆広報（TV、新聞社）依頼、対応

#### 【商工会】

- ◆企業絞込み、選定
- ◆参加依頼
- ◆礼状送付

#### 【ハローワーク】

- ◆企業絞込み、選定
- ◆高校との連絡調整
- ◆アンケート集計

### 【効果】

- ◆「郡上未来塾」を始めた平成18年度当初は、4月～5月に就職意識の形成を促進する目的が強かったが、関係機関や学校と事業内容を精査し、若年者の地元就職を強化するため、地元企業のPRの強化、地元企業に就職された先輩方による地元企業の紹介や地元企業の協力による模擬面接等を実施してきた結果、平成21年3月卒では地元就職者の割合が44.8%の状況から平成26年3月卒業者の地元就職者の割合は60.2%と大幅に増加した。
- ◆ 継続して開催することで学校の地元企業への就職意識の継承と生徒自身の就職意識の向上に繋がっている。



#### <参加企業のコメント>

- ・生徒達が地元企業を知るのに効果的である。メモを取り、真剣に話を聞く姿勢が良かった。
- ・企業と学校の距離が近くなった。

#### <参加生徒のコメント>

- ・地元こんな企業があることを初めて知った。
- ・地域に関わる興味深い仕事だった。
- ・就職に希望が持てた。

#### <労働局コメント>

地元就職の促進のため、郡上市の働きかけによる地元企業の協力を得ながら高校生に対する就職支援を連携して実施していくことで、職業意識の形成や地元企業への就職意識の形成につながる事業として期待しています。

## 【岐阜県恵那市】【岐阜労働局ハローワーク恵那】

# 地元企業の高校内企業説明会を実施し、職業意識の向上を図る

### 【課題・目的】

自己分析や企業研究が不十分で内定を得られない高校生や職場定着が難しくなっていた高校生が多かったことから、新高校3年生（現高校2年生）に対し、職業意識の向上及び就職活動へ理解を深めることを目的とした高校内企業説明会を実施。

### 【実施概要】

恵那市と岐阜労働局ハローワーク恵那、関係団体によって構成される恵那市雇用対策協議会の主催により、地元企業の担当者による高校内企業説明会を実施。

### 【役割分担】

#### 【恵那市】

- ◆市が持つ青少年への教育に積極的に取り組んでいる企業情報を基に企業選定
- ◆高校の意見（多様な職種、前年度内定状況等）を参考にして、説明会参加企業の選定

#### 【ハローワーク】

- ◆学生に対する相談
- ◆職業講話の実施（進路選択の方法等）
- ◆企業に対する説明会への参加依頼
- ◆高校との日程調整

### 【効果】

- ◆就職希望者40名が参加。
- ◆生徒からは、「今からできることを精一杯やりたい」「希望する企業をもっと詳しく調べていきたい」等の感想が聞かれ、就職活動への意識付けができた。



#### ＜恵那市コメント＞

企業が求める人材を知ることによって、社会人になる自覚が生まれます。また、業務内容を理解することにより、目標が明確になり、残りの高校生活が有意義なものになるのではないのでしょうか。

#### ＜労働局コメント＞

市が持つ青少年への教育に積極的に取り組む企業等の情報と労働分野に専門性のあるハローワークが互いの情報を補完し合うことで、高校生への好影響を与える企業を選択することが可能となった。



## 【静岡県静岡市】【静岡労働局 静岡新卒応援ハローワーク ハローワーク静岡 ハローワーク清水】 企業ガイダンスの実施により、高校生の職業意識の形成を図る

### 【課題・目的】

- ◆ 求人応募前の高校3年の7月に実施し、「就職」を現実的な問題として意識させ、早期の進路決定につなげる。
- ◆ 幅広い職種の求人事業主（建設業、製造業、卸・小売業等）を参加させることで、生徒に職業選択の幅広い視野を持ってもらう。
- ◆ 人事担当者による「事業内容」や「求める人材像」等の説明を通じてマッチングを実施することで、ミスマッチを減らし、離職率を減少させる。



### 【実施概要】

ハローワークに高卒求人を提出している企業がブースを設け、1回の説明時間を20分で合計6回の説明を行う。説明する内容は主に「仕事の内容」「求める人物像」「就職に対する心構え」等を直接人事担当者が説明。

### 【役割分担】

#### 【静岡市】

- ◆ 借上げ経費
- ◆ 会場設営
- ◆ 当日の司会進行補助
- ◆ 報道機関への投込み
- ◆ アンケート集計

#### 【ハローワーク】

- ◆ 参加企業、参加生徒の募集
- ◆ 資料作成、看板等作成
- ◆ 会場設営・運営・司会

### 【効果】

- ◆ 平成26年度 参加企業24社・参加生徒395人(参加校14校) ※会場の都合で縮小  
平成25年度 参加企業40社・参加生徒527人(参加校18校)
- ◆ 色々な業種の色々な職種の説明を聞くことができ、生徒の就職に対する意識が高まり就職意欲が向上し職業選択の幅広い視野が図られた。(地元紙や地元テレビで放映)

#### <静岡市コメント>

就職を希望する高校3年生を対象に、求人応募が始まる前に、他業種の企業の説明を直接聞いてもらう事により、就職への意識を高めさせ、職業選択への広い視野と自身の可能性を見つける足がかりにしてもらいたい。

#### <参加企業コメント>

沢山の生徒に向けて生のメッセージを発信できる場が、このガイダンスの特徴かなと感じます。業種や業界への理解が図られたと思います。

#### <ハローワーク>

静岡市とは合同で大学生等の面接会も開催しているため、今回も円滑にガイダンスを実施できた。今後も連携して地域の若年者雇用対策に取り組んでいきたい。

《照会先》 静岡労働局職業安定部職業安定課 (☎054-271-9950) (<http://shizuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)  
静岡新卒応援ハローワーク (☎054-654-3003)

## 【愛知県】【岡崎市雇用対策協議会】【愛知労働局ハローワーク岡崎】

# 採用意欲のある企業の人材確保を支援するため、協同事業として 新規高卒者合同企業説明会を実施

**【課題・目的】** 雇用情勢の改善が進む中、次代を担う若年者の人材確保に苦慮する地元の魅力ある中堅・中小企業に対する支援と、新規学卒者の早期就職決定を進めるため、合同企業説明会を実施。

**【実施概要】** 愛知県、岡崎市雇用対策協議会、愛知労働局ハローワーク岡崎が一体となって企画・広報・面接会の運営などを行い、岡崎エリアの優良な中堅・中小企業と地元への就職意欲が旺盛な新規高卒者のマッチングを実施。

### 【役割分担】

#### 【愛知県】

企画、広報、会場設営・撤去、  
参加企業受付、職業適性検査  
コーナー

#### 【岡崎市雇用対策協議会】

広報、会場設営・撤去、  
参加生徒受付

#### 【ハローワーク】

企業への開催案内、  
新たな求人票の受理、  
参加生徒及び担任教師への  
声掛け・誘導、  
会場設営・撤去、  
なんでも相談コーナー

### 【効果】

- |          |      |           |       |
|----------|------|-----------|-------|
| ◆ 参加企業数  | 34社  | ◆ 参加生徒数   | 73人   |
| ◆ 総面接数   | 207人 | ◆ 正式応募生徒数 | 54人   |
| ◆ 就職内定者数 | 14人  | ◆ 就職決定率   | 25.9% |



#### <岡崎市雇用対策協議会コメント>

国、県、市が協力することで、地元の優良企業に多くの学生が就職できました。

#### <参加企業のコメント>

高校生の方々の真摯な態度に感心しました。来年も同様の企画をお願いします。

#### <参加生徒のコメント>

企業の方と楽しく話ができ、多くの仕事に興味が持てました。

## 【愛知県豊橋市】【愛知労働局ハローワーク豊橋】 新規高卒者合同企業説明会を実施

【課題・目的】 就職未内定の高校生を対象に就職率の向上を目的に実施

【実施概要】 参加生徒43名、参加事業所18社  
延べ面談数113件、就職内定11名

### 【役割分担】

#### 【豊橋市】

- ◆説明会場の提供、設営、撤収
- ◆案内、リーフ、求人一覧等の作成

#### 【ハローワーク】

- ◆高校への周知、取りまとめ
- ◆事業所への周知、参加呼びかけ

### 【効果】

- ◆ 11名の内定が決定
- ◆ 93.9%の就職内定率  
(前年度1.3%UP)



### ＜豊橋市コメント＞

今春卒業の高校生を対象にした合同企業説明会を1月15日に豊橋市役所で開催しました。市内で開かれる今季最後の合同企業説明会ということもあり、まだ就職の決まっていない40名を超す高校生は真剣に企業の人事担当者の話を聞いていました。今回参加した事業所の報告によると、参加した生徒のうち11名の内定が決定したことがわかっています。今回の合同企業説明会を通して、昨年よりも多くの生徒が就職に結びつくことができました。多くの生徒に職場の雰囲気や事業所の取組みを知ってもらうことができよかったです。

### ＜労働局コメント＞

11月に愛知局主催、12月に愛知県主催の説明会を開催し、豊橋市との共催で3回目の説明会を実施し、採用未内定の生徒に対し就職意欲と就職率の向上に成果があがった。



## 【愛知県豊田市】【豊田市雇用対策協会】【愛知労働局ハローワーク豊田】 県内外の高卒人材確保のため、見学会を共同開催

**【課題・目的】** 豊田市・みよし市は、市内に限らず市外や県外から多くの学生を受け入れている。継続的な学生の確保のため、県内外の就職担当の高校教諭と豊田市雇用対策協会に加盟する企業との交流を深めることを目的として実施している。

**【実施概要】** 工場見学、意見交換会、交流会の三部構成。工場見学は、高校教諭全体でトヨタ自動車を見学後、グループに分かれ管内企業7社を見学した。  
その後、企業を交えての意見交換会、交流会を開催。双方の交流を円滑に進めるため、意見交換会では教諭の席を固定して企業が巡回する形式、交流会は立食形式を採用した。

### 【役割分担】

#### 【豊田市】

グループの引率者として見学会に参加し、高校教諭と企業の交流を円滑に進めた。

#### 【豊田市雇用対策協会】

事業の実施について市及びハローワークと連携しつつ、企業及び高校に出席要請し、当日の運営を担当した。

#### 【ハローワーク】

管内の企業に送り出しが多い高校の一覧表を作成。また、グループの引率者として見学会に参加した。

### 【効果】

管内の企業と送り出しの多い高校との接点ができ、高校訪問がしやすくなった。また、この機会を利用し、教諭が就職した学生と面談することが可能になり、定着指導もできた。さらに、高校側としては、継続的な送り出しが可能となった。



### ＜豊田市コメント＞

市内企業に就職する学生を継続的に確保するための有効な事業である。

### ＜労働局コメント＞

管内企業には、県外からの就職者も多くあり、学校と企業が直接面談する機会も少ないため、この機会を利用し、受け入れ、送り出しの促進に寄与している。

【滋賀県甲賀市】【滋賀労働局ハローワーク甲賀】

# 地域の若年労働者の人材確保のため、共同事業として “甲賀JOBフェア”を実施

【課題・目的】

甲賀市内の事業所は、地理的に若年労働者の確保が難しいため、事業所に対して出会いの場を提供するとともに、若者に甲賀市の就業場所を提供することにより、甲賀市の魅力を伝え、市内定住を促す。

【実施概要】

新規学卒者・若年求職者（おおむね45歳以下）の合同就職面接会を開催。

【役割分担】

【甲賀市】

- ◆参加事業所の開拓
- ◆求人情報誌の作成
- ◆面接会場の確保、レイアウトなど

【ハローワーク】

- ◆対象求職者の勧奨
- ◆関係機関への連絡
- ◆求人受理 など

【効果】

- ◆ このイベントにより学卒18名、一般求職者4名が就職
- ◆ このイベントへの一般求人（正社員求人）が22人分確保



＜甲賀市コメント＞

市内の魅力ある企業・事業所を紹介することができ、22名の就労につながった。

引き続き、平成26年度も継続実施の計画をしている。

＜労働局コメント＞

市担当部門と連携することによって良質求人の確保ができた。

## 【大阪府】【大阪労働局ハローワーク大阪東】

# 若年者の正社員雇用の促進を図るため、大阪府（OSAKAしごとフィールド）と連携して「就職面接会」を実施

### 【課題・目的】

介護などの人材不足分野を始め、若年者を雇用したい企業と若年者のマッチングを促進するため、就職面接会を実施

### 【実施概要】

OSAKAしごとフィールド（大阪府設置の「若者」と「中小企業」をつなぐ、就職支援施設）において、介護などの人手不足分野を始めとした若年者を雇用したい企業を、府・ハローワーク大阪東で緊急開拓し、面接会を実施

### 【役割分担】

#### 【大阪府】

- ◆ 求人開拓
- ◆ 会場設営・面接会の運営
- ◆ 周知・広報

#### 【ハローワーク】

- ◆ 求人開拓・求人受理
- ◆ 面接会の運営
- ◆ 周知・広報

### 【効果】

- ◆ 若年者の厳しい就職環境を踏まえ、4者で協議し、急遽実施し、以下の成果を得た。
- ◆ 成果：参加企業15社 応募者76名  
採用6名



### ＜大阪府コメント＞

大阪労働局、ハローワーク大阪東の多大なご協力により、短期間での準備にもかかわらず、面接会を開催できました。今後とも、大阪労働局のご協力をいただき、一体的実施による利点を生かしたきめ細かな求職者支援を行いたいと考えています。

### ＜労働局コメント＞

準備期間が短い中で、大阪府に面接会場を提供いただき、府及びハローワーク大阪東が協力し、求人開拓することで面接会が開催できた。今後とも連携を深め、一人でも多くの求職者と企業とのマッチングを図っていきたいと考えています。

＜照会先＞ 大阪労働局職業安定部職業安定課（TEL:06—4790—6300）



## 【大阪市天王寺区】【ハローワーク大阪東】 市のインターンシップ事業成果報告会にハローワークが参加し、 中高生の「働く」意識向上を図る

### 【課題・目的】

子育て世代の比率が高い大阪市天王寺区で、早期のキャリア教育環境の整備として、**中高生を対象にインターンシップ事業**を実施。（8月）

その成果報告会（中高生、保護者も参加）にハローワーク大阪東が参加し、早い段階でキャリアのことを考えるきっかけとしてもらうため、**ハローワークが職業興味検査と職業相談**を実施。また、**保護者に対して、ハローワークの取組を紹介**。

そのほか、成果報告会では、**参加企業とキャリア教育について意見交換**を実施し、関係機関の今後の連携方法について参考とした。

### 【実施概要】

9月28日、大阪市天王寺区役所講堂において、パソコン3台を設置し「職業興味検査コーナー」と「職業相談コーナー」を開催。職業興味検査と職業相談を実施し、自分に合った進路や仕事を選ぶ際の参考にしてもらう。

### 【役割分担】

#### 【大阪市天王寺区】

- ◆インターンシップ事業成果報告会の実施
- ◆会場設営・報告会の運営
- ◆周知・広報（区広報紙掲載など）

#### 【国】

- ◆参加中高生への職業興味検査と職業相談の実施
- ◆会場設営
- ◆周知・広報（新聞掲載など）

### 【効果】

- ◆大阪東所長の天王寺区長訪問時のコラボ提案が発端。その後、天王寺区長がハローワークに初めて来られたことで取組が実現。
- ◆インターンシップ参加生徒に職業興味検査・職業相談を実施。今後の進路や仕事を選ぶ際のきっかけにもらった。成果報告会に参加した企業も加わり、キャリア教育について意見を交換することもできた。また、参加中高生の親に対して、ハローワークの取組を紹介することができた。



#### <大阪市天王寺区コメント>

インターンシップでの実践的な体験に加え、ハローワークの職業興味検査を受けることで、参加生徒が将来のキャリアを考える良いきっかけになりました。

#### <労働局コメント>

区側のご協力で、区役所内にハローワークのコーナーを設置することができました。今後も、天王寺区が実施する事業に国が参加するなどの連携を強化し、住民視点のサービスを実施していきたい。

## 【兵庫県、丹波市、篠山市他】【兵庫労働局ハローワーク柏原】

# 地域の人材確保のため、共同事業として就職フェア等を実施

【課題・目的】 若者の地域定着、U・Iターン促進を図り、人材確保、地域の活性化を図る

【実施概要】 地域における人材確保のため、共同事業による就職フェア等の各種事業を展開

- ・就職フェアinたんば
- ・高校生対象企業紹介セミナー
- ・丹波地域企業と大学等就職担当者との情報交換会
- ・大学生による丹波地域企業の見学会
- ・企業紹介フェア

### 【役割分担】

【兵庫県、丹波市、篠山市他】  
兵庫県が事務局として丹波地域人材確保協議会を開催。  
構成団体との連絡調整、各種事業の企画立案及び事業実施。

【ハローワーク】  
丹波地域人材確保協議会の構成団体として、企画立案への助言及び事業実施。



### ＜兵庫県他コメント＞

事業の企画立案段階から採用選考までハローワークの専門的な知見に基づく指導により地域の雇用情勢の改善に向けた強いパートナーシップを構築している。

### ＜労働局 安定所コメント＞

関係する機関が共通の認識を持って地域の課題に取り組み、各行政機関等の社会資源を活用した効果的、効率的な事業運営を展開。

### 【効果】

若者の地域定着やU・Iターンの促進  
平成25年度実績 就職フェア 35社、133名、内定15名  
高校生対象企業セミナー 23社、1,130名  
大学等就職担当者情報交換会 17社、24校  
大学生による企業の見学会 4社、21名  
企業紹介フェア 31社、73名、内定5名

## 【島根県】【島根労働局】

# 新規学校卒業者の県内就職促進のための求人要請行動

### 【課題・目的】

例年、県内企業からの学卒求人提出が遅れることから、新規学校卒業者の県内就職を進めるため、より早期に、より多くの求人確保を目指すことを目的に実施したものの。

### 【実施概要】

島根県知事、県教育長、中国経済産業局長、労働局長が、島根県経済4団体の代表を訪問し、求人確保要請を行った。また、県内の各自治体において、島根県、市町村等とハローワークが共同して、地域の商工団体等に対する求人確保要請を実施した。また、「1社1財運動」と銘打って、3,000社を目標に事業所訪問を行い求人要請を行った。



### 【役割分担】

#### 【島根県】

- ◆ 知事、教育長、高等学校教諭等の訪問日程の調整
- ◆ 1社1財運動訪問資料準備

#### 【労働局】

- ◆ 中国経済産業局、市町村、商工団等の訪問日程調整
- ◆ 要請文書作成（4者連名）
- ◆ 要請訪問時説明資料準備

### 【効果】

- ◆ 求人の早期提出を呼びかけた結果、県内求人数が高校の選考開始直前の平成24年8月末現在で、対前年23.1%増加した。
- ◆ 県内求人が早期に提出された結果、高校卒業者の県内就職内定率が前年度同期に比し平成25年1月末現在で3.2ポイント上昇した。

### ＜労働局コメント＞

経営団体のトップに行政機関のトップが働きかけることにより、若年労働力確保のための早期求人提出の必要性が理解されたことから、早い段階から求人が提出され、県内企業への就職率の上昇という効果がみられた。



## 【島根県隠岐郡隠岐の島町】【島根労働局ハローワーク隠岐の島】 島内就職促進のため、事業所と高等学校との情報交換会を実施

### 【課題・目的】

高卒を含む若年層の島外流出の課題に対し「高校を卒業しても地元で就職できる」「Uターンしても就職できる」環境を実現するための求人の安定的確保を目的として実施。

### 【実施概要】

管内の事業所と高等学校の進路担当教諭の人事担当が一同に集まり、事業所PR、学校の就職希望者の状況等の説明後、フリーな情報交換の場を設定した。

### 【役割分担】

【隠岐の島町】  
案内発送経費負担  
会場準備・受付

【隠岐地区建設産業異業種交流会】  
会場経費負担・会場準備・受付

【ハローワーク】  
企画・立案・運営

【島根県隠岐支庁】  
会場準備・受付

### 【効果】

- ◆ 高卒対象求人の大幅増加  
7月31日時点 求人提出事業所数は21社（対前年比110.0%）  
求人数36人（対前年比89.5%増）で前年度累計数31人を上回る。
- ◆ 島内就職者の早期就職内定  
12月末における島内就職希望者100%内定（一部養護卒業生除く）



### ＜隠岐の島町コメント＞

町独自の新卒者採用に係る事業所への助成制度と当該事業が奏功し効果がみられた。今後もハローワークと各事業所との連携により雇用対策を進めていきたい。

### ＜労働局コメント＞

離島という環境にあり、若者の島外流出という地域課題を抱えている中で、新卒、Uターンなどによる地元就職促進に関して、地域の企業と学校で共通の認識を持つことにつながったと評価している。

## 【島根県益田市】【島根労働局ハローワーク益田】

# 新規学校卒業者の採用計画等の意向調査を実施

**【課題・目的】** 益田圏域においても少子高齢化時代を受け、新規学校卒業者をはじめとした若年労働力の確保が喫緊の課題となっており、当該若年求職者に対する就職支援策の推進、とりわけ新規学校卒業者の就職支援を図るための就職援助事業、Uターン対策事業等に活用するために実施したものの。

**【実施概要】** 年度当初において、益田鹿足雇用推進協議会会長・益田公共職業安定所長の連名で、管内の5人以上規模の雇用保険適用事業所(H25年度約560社)に対し、採用計画等(採用計画、職場見学・インターンシップの受け入れの可否、企業説明会の参加の可否等)についての意向調査を実施。

調査結果を益田鹿足雇用推進協議会(※)、益田公共職業安定所が共有し、求人開拓、雇用推進協議会実施事業に対する参加勧奨および新規学校卒業者に係る事業所ニーズの把握等新規学校卒業者に対する各種支援策に活用する。

(※) 事務局は益田市産業経済部 産業支援センター内に設置。

### 【役割分担】

**【益田市】** (益田鹿足雇用推進協議会)  
調査票発送業務

**【ハローワーク】**  
調査票等の作成・調査結果の  
集計業務

### 【効果】

調査結果を事業所訪問・求人開拓(早期の求人提出勧奨を含む)、各種事業への参加勧奨及び職業相談時等に活用することによって、求人数(平成25年3月末求人数 対前年同月比38.2%増の141人)、県内就職率(平成25年3月末就職率 対前年同月比14.0P増の54.0%)の向上に寄与している。

### <労働局コメント>

事業所の採用計画等の意向を把握することによって、早期の求人提出を促し、求人数の確保・県内就職率の向上に資するものであることから、今後も連携して当該取組を実施する。

## 【島根県出雲市】【島根労働局ハローワーク出雲】 若者の雇用対策・定住対策のための 「学校と求人企業との情報交換会」を共同開催

### 【課題・目的】

新規学校卒業生求人の情報提供と地元の企業の理解を得るとともに、管内の優良企業への就職促進を図ることを目的としている。

### 【実施概要】

学校の職業指導担当者（高校23校、大学14校、短大6校、専修・高専6校（合計49校）、企業（民間企業27社、公務官署5社）の参加を得て6月に開催。

- ◆学校からの参加者が企業ごとのブースを巡回し、企業の担当者から、採用見込みの職業情報や採用基準等の説明を受ける。
- ◆学校の担当者は、その学校の教育の特色や学生の特徴などを説明したり、管内就職を希望している卒業予定者の状況を企業担当者に説明する。
- ◆学校担当者、企業担当者とも効率よく情報交換ができると評価。

### 【役割分担】

#### 【出雲市】

会場の手配、参加企業の選定と案内、参加企業のとりまとめ

#### 【ハローワーク】

学校等への周知、開催当日の運営

### 【効果】

企業側においては、卒業予定者の情報を得ることで、採用計画が早まるなど求人意欲を高める効果がある。また大学等への求人申し込みが見込まれる。



### ＜労働局コメント＞

事業を開催することにより、地域企業における人材確保と、新規学卒者の雇用の場の確保につながっている。

また、自治体とハローワークが共同して開催することにより、両機関の連携強化が図られている。



# 【岡山県岡山市】【岡山労働局×ハローワーク岡山×ハローワーク西大寺×おかやま新卒応援ハローワーク】 国が認定する「若者応援企業」と市が募集する「ものづくり企業」等を対象 とした新規学卒者合同面接会を開催

## 【目的・概要】

市内のものづくり企業等には魅力はあるものの、情報が求職者に届かず若年労働力が不足している傾向がある。

そこで、**国が認定する**、より詳細な情報を持ち合わせた**「若者応援企業」**と**市が募集した「ものづくり企業」**等を対象とした合同面接会を実施することで、**若年労働力が不足している地元中小企業のマッチングの向上**につなげることを目的とした。

## 【面接会概要】

日時：平成26年8月22日（金）13:30～16:00

場所：岡山コンベンションセンター3階 コンベンションホール

参加対象者：大学等卒業予定者、既卒3年以内の者、概ね45歳未満の求職者

## 【役割分担】

### 【岡山市】

- ◆会場確保 企業募集
- ◆チラシ・ポスターの作成
- ◆当日配布資料作成
- ◆岡山市各施設・広報誌・ホームページにて周知

### 【労働局・ハローワーク】

- ◆学卒求人等の確保
- ◆大学等への面接会参加要請
- ◆新規学卒者等への周知
- ◆ホームページ掲載の周知
- ◆当日の受付、職業相談等



### ＜岡山市コメント＞

「伝説の面接会」と称してハローワークと協働で2回目の合同面接会を開催した。

共催のおかげでスムーズな運営となった。

市としても、市内ものづくり企業等で、若年労働力が不足している事業所と大学生等の面接の機会が確保できたこと、且つ、地元発展のために頑張っている事業所のPRができたことに意義があったと考える。

### ＜労働局コメント＞

ミスマッチを解決するためには、中小企業の情報をもっと詳細に集めることが有効である。そのことを踏まえれば、本取組は国と市が持つ情報を合わせることができるので、ミスマッチの減少に効果があると考えられる。

## 【効果・課題】

- ◆当日 事業所33社 求職者81名（内 新規学卒者48名）
- ◆平成25年度より合同面接会を開始して今回で2回目となる。本年度においては、景気回復基調を背景に求人状況は順調な出足となっており、求人数を前年同期（6月末現在）と比較すると県内では23.2%増加、ハローワーク岡山管内では23.6%増加しており、売り手市場の状況が顕著になっている。
- このため、**昨年度と比較して参加事業所は5社増えて33社となったが**、参加学生等は81名と105名の減少となった。今後は都市圏を中心に地元出身学生等への積極的なPRが必要であると考えられる。

## 【岡山県津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町】【岡山労働局ハローワーク津山・ハローワーク美作】 地域産業の人材確保のため、共同事業として学校訪問活動を実施

### 【課題・目的】

少子・高齢化が進展している岡山県北地域にとって、若者労働力の確保が課題となっている。

このため、県北高校生（大学生等を含む。）が、地元の企業へ就職し、定着できるように支援を行うことを目的とする。

### 【実施概要】

地元企業で構成する団体と行政機関が管内の各学校（H26年度、16校）をグループを組んで訪問し、企業・学校・行政のそれぞれの立場から意見交換を行う。

### 【役割分担】

#### 【津山広域事務組合】

津山広域事務組合（構成団体：津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町）が行う事業（高校卒業後進学先での就活に役立つ情報の提供を目的とした「就活学生登録」や企業の人事担当者を講師として招請する「職業講話」等）の概要説明を行う。

#### 【ハローワーク】

管内の雇用状況について情報提供を行う。また、学卒ジョブサポーターによる就職支援の概略について説明を行うとともに、学校との連携を強化する。



#### <津山市コメント>

学校進路担当者や情報や危機意識を共有することにより、就職希望生徒の地元就職の礎を築いている。

#### <労働局コメント>

岡山県北地域では若者の県南あるいは都市部への流出が続いており、若年労働力確保対策が急務となっている中、学校訪問活動の果たす役割は大きい。

### 【効果】

津山広域事務組合が実施する岡山県北地域の高校生を対象としたH25年度の就職意識調査では、地元就職希望者の割合が、30.1%と低いが、就職者のうち地元へ就職した率は75.3%と高く、学校訪問活動が岡山県北地域における人材確保の一端を担っている。

## 【香川県東かがわ市】【香川労働局ハローワーク東かがわ】 地域の若年者雇用対策・地元企業の人材確保のため、地元の高校生・大学生等に対する一貫したガイダンス事業、企業説明会・面接会を連携して実施

### 【課題・目的】

市の人口が減少する中、若者の流出を防ぎ次世代の担い手を育てるために、高校生の早い段階から大学生等に至るまで一貫した地域産業・地元企業を理解する機会を提供し、地域企業への就職促進を図ることを目的とする。

### 【実施概要】

地元の県立高等学校1・2年生全員に、総合的な学習時間を活用した地元企業担当者等による講演会を開催し、地域産業・地元企業への理解を促進する職業ガイダンスを実施することと併せて、卒業後の大学生等に対する就職活動の支援として、地元での企業面接会・説明会を開催。

### 【役割分担】

#### 【東かがわ市】

- ◆市長が高校生に対して、市の代表的産業の説明や地元での就職及びふるさとの良さを講演
- ◆「東かがわ市ふるさと企業ガイド」作成配布
- ◆就職面接会・説明会の会場・設営を担当
- ◆面接会・説明会のリーフレットを各戸に配布

#### 【ハローワーク】

- ◆高校生のガイダンス事業の講演事業所の依頼
- ◆面接会・説明会への参加事業所の案内募集
- ◆リーフレット配布（進学先・折込み広告）による参加者募集

### 【効果】

- ◆事業主団体や地元企業の若者就職への積極的な取組効果
- ◆地域の各高等学校から進路先（大学等）の情報が得られ学生等への地元での就職情報の提供が容易になる
- ◆マスコミ等の報道により地元での就職にPRが出来る
- ◆職業ガイダンスは330名参加、就職面接会・説明会は31名参加（うち就職1名）

東かがわ ふるさとで働こう。  
就職面接会 企業説明会  
平成25年 12/25(水) 14:00~16:00 (受付開始 13:30~)  
東かがわ市交流プラザ  
〒769-2701 東かがわ市湊1806-2 ☎0879-26-1224  
会場へはJR三本松駅から送迎バスあり。時刻はホームページをご覧ください。

参加予定事業所 約 30社  
kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/  
www.higashikagawa-syusyoku.jp/  
参加事業所名簿は12月18日(水)にホームページで公開予定 www.tebukurokumiai.jp/  
お問い合わせ先：ハローワーク東かがわ TEL0879-25-3167  
主催：香川労働局、ハローワーク東かがわ、東かがわ市 後援：東かがわ市商工会、日本手袋工業組合

### ＜東かがわ市コメント＞

雇用の促進を図るとともに地場産業を支援し、若者の定住促進のため、ハローワークと連携を強化する。

### ＜労働局コメント＞

自治体との連携により、地域に密着した求人・求職ニーズを把握でき、よりきめ細やかな支援を実現できた。



## 【福岡県】【福岡労働局・ハローワーク】

# 平成25年度 新規高卒者就職面談会を実施

【課題・目的】 就職未内定生徒の円滑な就職促進を図ることを目的に、福岡労働局・県内全ハローワーク、福岡県及び福岡県教育委員会が共同で、11月に福岡県内4ブロック（福岡・北九州・筑豊・筑後各地区）で就職面談会を実施

【実施概要】 福岡県内4ブロックでの合計  
 参加学校数 143校 参加生徒数 449名  
 参加事業所数 110社 求人数 458件  
 延応募件数 574件 就職内定数 228名

### 【役割分担】

#### 【福岡県】

- ◆ 高校への周知、事前指導
- ◆ 事業所への参加呼びかけ
- ◆ 参加校及び生徒の把握
- ◆ 当日の運営

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆ 求人確保
- ◆ 高校への周知、取りまとめ
- ◆ 会場の確保、当日の運営
- ◆ 面談会結果分析

### 【効果】

- ◆ 今回の面談会により228名が就職内定
- ◆ 管内の新規高卒者就職率 98.4%（平成26年3月末）  
（対前年度比2.0ポイント改善）



### ＜福岡県コメント＞

各ブロックごとに面談会を実施することにより、地元での就職・採用を希望する多くの学生・企業に参加いただくことができ、マッチングの促進に効果があったと考えている。

### ＜労働局コメント＞

面談会を実施することにより、指定校以外からの採用が増えるとともに、未充足求人の充足及び就職未内定生徒の就職促進に効果があった。

## 【福岡県】【福岡労働局福岡わかものハローワーク・福岡新卒応援ハローワーク】 若者の就労支援に係る施設を一箇所にまとめ、迅速・効果的な支援を実施

### 【目的】

若者の就労支援を行う国と県の5施設を**一箇所に集める**ことで、利用者に対する的確な誘導、迅速な意思決定を実現。

### わかものジョブプラザ・福岡（愛称は「わかジョブ・ふくおか」）

- ① 若者しごとサポートセンター（県）：概ね29歳までの者を対象に個別就職相談、各種セミナー等
- ② 30代チャレンジ応援センター（県）：30～39歳までの者を対象に個別就職相談、各種セミナー等
- ③ 若者サポートステーション（県・国）：働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者に対し個別就職相談、コミュニケーション訓練などによるステップアップ、協力企業への就労体験等を実施。
- ④ わかものハローワーク（国）：担当者制による職業相談・職業紹介、各種セミナー、事業主への働きかけ等を実施
- ⑤ 新卒応援ハローワーク（国）：担当者制による職業相談・職業紹介、各種セミナー、大学訪問等を実施



### 【連携して取り組んでいる取組】

- ※ **個人情報**の取扱いに関する協定書に基づき、求職者情報を共有した連携を実施。
- ※ **総合案内を一本化**し、それぞれの施設で登録する際に、他の施設の支援メニューの説明を実施。また、支援の途中での他施設の支援メニューへの誘導等も実施。
- ※ **毎月、5施設によるミーティング**を実施。セミナー、会社説明会等の情報、連携事例を共有。
- ※ 平成27年10月に県知事と福岡労働局長が締結した「**福岡県雇用対策協定**」の中にも「若者の活躍促進」を位置付けており、その具体的な取組として当該施設の運営に取り組んでいる。これによりPDCA管理が可能となる。

### 【効果】

利用者アンケートによると、複数の機関をワンフロアで利用できるメリットとして、「色々なアドバイスを聞くことができる」（47%）、「情報収集しやすい」（29%）、セミナーの選択肢が増える（18%）と好評である。

### ＜福岡県コメント＞

国と県が連携して一貫したセミナーを運営することで、若年求職者の利便性が向上している。今後も様々な連携メニューを提供していきたい。

### ＜労働局コメント＞

県内には複数の若者の支援を行う施設がある。利用者からみれば施設が点在しているより、同一施設内にある方が効果的な支援を受けられる。

また、支援する側からしても、定期的な打ち合わせができ「顔の見える」関係を構築することが可能となるとともに、それぞれの役割に専念することで限られた行政資源を効率的に使うことが可能となる。

## 【長崎県】【長崎労働局ハローワーク長崎】

# 若者の雇用対策に積極的な企業の人材確保のため、 就職面談会を共同開催

### 【課題・目的】

新規高等学校卒業予定者の就職促進及び求人事業所に対する充足促進を図ることを目的とする。

### 【実施概要】

高卒求人が出されている事業所で、国が推進する「若者応援企業宣言」事業所と県が若者対策として取り組んでいる「ながさき若者就職応援団」登録事業所を対象に、新規高等学校卒業予定者との対面方式による就職面談会を実施。

### 【役割分担】

#### 【長崎県】

- ◆事業所、高等学校に対する開催広報
- ◆職員の派遣
- ◆会場借り上げ等経費

#### 【ハローワーク】

- ◆事業所への参加要請・広報
- ◆実施要領等の作成
- ◆職員の派遣
- ◆管理及び運営

### 【効果】

- ◆ 名称に「若者応援企業宣言」、「ながさき若者就職応援団」を冠し参加対象企業を限定したこと、それぞれが作成しているPRシートを提供したことで、1社当たりの面談件数が従来の面談会より増加した。
- ◆ 参加企業20社、参加者64名、就職内定者6名であった。



#### ＜長崎県コメント＞

人口流出が進んでいる中、若者の県内就職・定着は喫緊の課題であり、企業と一体となった本取組は効果があったと解している。今後も推進していきたい。

#### ＜労働局コメント＞

PRシートが効果を奏したのか、積極的に面談を行っている生徒が多くみられた。



## 【熊本県熊本市】【熊本労働局ハローワーク熊本】 高等学校進路指導担当職員と企業との意見交換会を実施

### 【課題・目的】

事業所と高等学校進路指導担当職員との意見交換を通じて、相互理解及び雇用促進を図ることを目的に開催。

### 【実施概要】

県内の事業所及び高等学校の進路指導担当者が一堂に会し、個別ブースを設けて自由に意見交換ができるスタイルで実施。

### 【役割分担】

#### 【熊本市】

- ◆事業所及び高等学校への案内
- ◆会場設営
- ◆会の運営

#### 【ハローワーク】

- ◆雇用失業情勢の説明
- ◆事業所・高等学校からの相談
- ◆求人の早期把握

### 【効果】

- ◆ 県内の進学校を除くほとんどの高等学校が参加し、求人受理開始前の6月上旬に開催しており、事業所・高等学校の双方より貴重な情報収集の場として高い評価を得ている。
- ◆ 平成26年3月卒の新規高卒求人受理件数が、平成26年4月末現在で、前年度比17.4%増加するなど一定の効果がみられた。



#### <熊本市コメント>

- ・実施には国の協力が不可欠
- ・事業所、進路指導担当者からも好評価をいただいている。

#### <労働局コメント>

- 県下の多くの学校と企業とが参加することで、情報交換の場として効果的な取組となっている。